

事業報告書（令和6年度）

1. 法人の概要

- 法人の名称：準学校法人 実学舎
- 設置学校の名称：埼玉コンピュータ&医療事務専門学校
- 設置学校の所在地：埼玉県さいたま市大宮区上小町1450番3
- 認可年月日：昭和59年3月31日
- 役員及び監事（令和7年5月1日現在）
 - （理事長） 坂本 健司
 - （校長） 高野 庸夫
永嶋 龍次
山崎 友義
井上 太郎
田沼 耕三
岡田 博之
市塚 博
 - （監事） 友光 道教
加納 正敏

なお、当法人は、役員賠償責任保険契約を締結している。

（概要）役員賠償責任保険

一般社団法人 職業教育・キャリア教育財団（引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社）
・・・法人に対する補償及び役員個人に対する補償 保険期間中の総支払限度額 5億円

- 設置学校の入学定員（各年）及び在籍学生数の状況（令和7年5月1日現在）
 - 情報テクノロジー科：定員70名：1年生89名・2年生44名
 - クリエイター科：定員10名：1年生16名・2年生15名
 - デザイン科：定員20名：1年生13名・2年生17名
 - ビジネス科：定員10名：1年生21名・2年生8名
 - 医療事務科：定員40名：1年生7名・2年生17名
- 設置学校の教職員数の状況（令和7年5月1日現在）
 - 校長1名・教員10名・講師20名・職員5名

2. 事業の概要

- <学生指導> 担任と教科担当とが連携して指導にあたり、月1回の教職員会議にて現状報告を行い、対応を要する学生については協議の上、個別指導、父母等面談、家庭訪問等を実施。学生一人ひとりに丁寧なきめ細かい指導を実践した。令和6年度は、新入生に対して入学式直後の3日間をかけてオリエンテーションを行い、教育方針や当校での生活について丁寧に説明したのち授業を開始することで専門学校生としての意識付けを図ることができた。
- <就職指導> 求人状況667社（2001人）
就活スタートイベント「社会人講話及び就活キックオフ」を実施、社会人として必要な心構え、就活の現状と課題、各業界が求める人材等についての講話を行い、早期から就活活動に挑めるよう意識付けを行った。令和6年度は、業界理解を深めるため校内での会社説明会を積極的に開催し、企業との出会いの場を広げることができた。
- <各科指導> 全科において学生一人ひとりの習得度合を把握した上での授業に努めた。令和6年度は、単元テストや課題提出による随時評価を実施、学生に対してこまめにフィードバックを行い、今まで以上に学生に寄り添った指導を行うことができた。